

ゆい! のひろば



宮古島市教育委員会
広報誌

第22号

2016/2/1発行

個性豊かな文化をはぐくみ、一人ひとりが輝く島



下地地区・白川町海・山体験交流事業



上越市板倉区・城辺地区児童交流事業



CONTENTS



• Topics

子ども博物館「野草観察会と野草料理」
教育研究所「秋田の教育から学ぶ」
平良・城辺図書館「クリスマス会」

• わだいの広場

平成28年宮古島市成人式



特集



- 宮古島市立幼稚園学級編成について
- 宮古島市文化ホール自主事業
- 宮古島市の教育を語る市民大会



連載 文化財を巡る



「ミヤコカナヘビ」

特集 宮古島市立幼稚園学級編成について

市教育委員会は、平成27年度第9回定例会において、来年度から幼稚園学級編成基準を変更する規則の改正を決定しました。

これは、市の園児数が近年減少傾向にあるなかで、小規模園化した状況では、社会性の育ちや体験の広がり・深まりなど、子どもにとって望ましい教育環境の保障が難しくなっており、より質の高い幼稚園教育の環境を整えるための措置です。

この改正により、園児が5名以下の園は休園となることから、現在園児不在で休園となっている宮島幼稚園に加え、池間幼稚園、福嶺幼稚園の計3園が新年度から休園となる見込みです。

宮古島市立幼稚園園児数の現状

園名	学級数	4歳児	5歳児	合計	園名	学級数	4歳児	5歳児	合計
平良第一幼稚園	2	0	51	51	池間幼稚園	1	1	3	4
北幼稚園	2	0	47	47	西城幼稚園	1	4	16	20
南幼稚園	2	0	66	66	城辺幼稚園	1	2	5	7
東幼稚園	2	0	67	67	福嶺幼稚園	1	0	3	3
久松幼稚園	2	0	41	41	砂川幼稚園	1	2	6	8
鏡原幼稚園	3	16	39	55	下地幼稚園	1	6	23	29
宮島幼稚園	1	0	1	1	上野幼稚園	1	0	25	25
西辺幼稚園	1	0	16	16	佐良浜幼稚園	1	0	22	22
狩俣幼稚園	1	3	3	6	伊良部幼稚園	1	0	18	18

〔平成27年11月1日現在〕

幼稚園管理規則の変更点

これまで

学級の編成

- ・5歳児1学級の幼児数は、35人以下とする。
- ・異年齢児による学級編制ができるものとし、その1学級の園児数は25人以下とする。

平成28年4月1日から

学級の編成

- ・5歳児1学級の幼児数は、5人以上35人以下とする。
- ・異年齢児による学級編制ができるものとし、その1学級の園児数は5人以上25人以下とする。

幼稚園教育要領の示す教育課程



健康

健康な心と体を育て、自ら健康で安全な生活を作り出す力を養う。



人間関係

他の人々と親しみ、支え合って生活するために、自立心を育て、人と関わる力を養う。



環境

周囲の様々な環境に好奇心や探求心を持って関わり、それらを取り入れていこうとする力を養う。



言葉

経験したことや考えたことなどを自分なりの言葉で表現し、相手の話す言葉を聞こうとする意欲や態度を育て、言葉に対する感覚や言葉で表現する力を養う。



表現

感じたことや考えたことを自分なりに表現することをとおして、豊かな感性や表現する力を養い、創造性を豊かにする。

「集団の適正規模」について

自我が芽生える幼児期には、友達との考えやものをめぐる対立、葛藤経験などを通して、思いをはっきり主張したり自分の感情を抑えたり、思いやりの気持ちを学んだりすることが、今後の発達に必要であり、重要な経験となります。つまり、子どもにとって望ましい環境とは、前項の「教育課程」の実現、一定の集団の中で子ども同士が相互に影響しあい、一人一人の発達に沿った必要な経験が得られることであると考えことから、市教育委員会では今後も園児・児童・生徒数を注視し、より良く質の高い教育環境を目指していきます。

宮古島市文化ホール自主文化事業

マティダ お笑い劇場 「劇団ぴん座」旗揚げ！



宮古島市文化ホール マティダ市民劇場は自主文化事業として、県の「平成27年度文化芸術による地域活性化事業」を活用した「マティダお笑い劇場(劇団ぴん座)」の公演実施に向けて取り組んでいます。

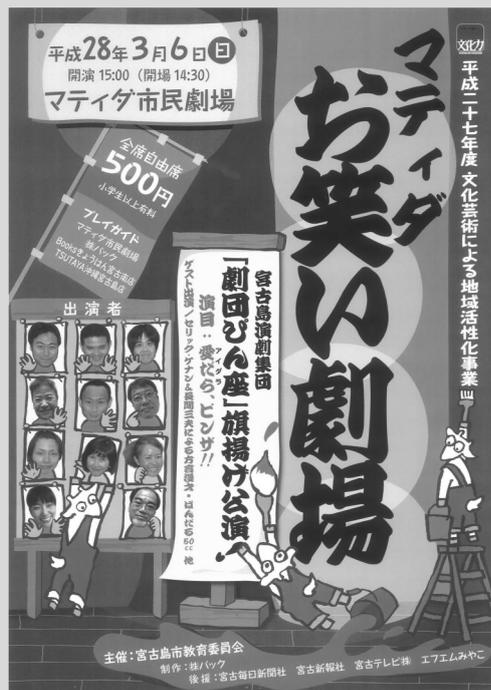
この事業は、これまでのマティダ市民劇場の利用状況を目的別で分類すると舞踊や音楽、講演会などでの利用に比べ、演劇での利用が少ないことから企画されました。

これまで宮古島には一般の劇団はなく、島外から劇団を招いて市民に舞台芸術を鑑賞する機会を提供することがほとんどでした。しかし、宮古方言を用いた催し物の人気が高いことに着目し、宮古方言を活用した宮古ならではの劇団を立ち上げることにになりました。

劇団ぴん座は、沖縄芝居に次ぐみやこ芝居の確立を目的のひとつにしており、昨年10月に結成されました。宮古方言を活用した脚本で、地元宮古島の人によって書かれています。この芝居鑑賞を通して市民の皆様が笑い、泣き、元気になるように、まさにブガリノース(宮古方言で「疲れを治す」つまり、疲労回復やリフレッシュ)をしてもらいたいという思いが込められています。また、鑑賞するだけでなく舞台演芸に携わるきっかけとなったり、宮古方言の継承につながっていくことも期待されます。



団員のほとんどが芝居初心者ということで、週一回の稽古に加え、宮古島での公演経験があり、毎回好評を得ている劇団ジョーカンパニー主宰で俳優の小野寺丈さんを講師に迎えてワークショップを開催するなど舞台での演劇芝居について本格的に学びながら、来月3月6日(日)の本番に向けての準備を着々と進めています。



「劇団ぴん座」旗揚げ公演 マティダお笑い劇場 「愛だら、ピンザ!!」



〜あらすじ〜 ヤギ汁が大好きな主人公の徳良。ある日、病院に行った徳良は、医者からガンと診断されその原因はヤギの祟りだと告げられる。実はその前日も友人に誘われて一緒にヤギ汁を食べていたのだが、それが盗まれたヤギだったことが判明し、その罪で徳良は霊界の裁判にかけられることに。はたして、徳良の運命は…!?

ゲスト出演/セリック・ケナン&長間三夫による方言漫談●ぱんだる50cc

日時:平成28年3月6日(日)
開場14:30/開演15:00

場所:マティダ市民劇場
入場料:500円(全席自由)

※小学生以上有料
チケット販売:マティダ市民劇場、(株)パック

Booksきょうはん宮古商店、TSUTAYA沖縄宮古島店

主催:宮古島市教育委員会

制作:(株)パック

後援:宮古毎日新聞社・宮古新報社

宮古テレビ(株)・エフエムみやこ

※チケットの購入については、各販売店へお問合せ下さい。

連載

文化財を巡る



「ミヤコカナヘビ」

私たちの暮らしている宮古島を中心とする周辺離島には、さまざまな動植物が生息しています。中には、温かい気候でしか生きられないものや、宮古諸島でしか見ることのできないものもいます。

そんな宮古島の生き物の中から、今回は「ミヤコカナヘビ」をご紹介します。

ミヤコカナヘビは、沖縄本島などで見られるアオカナヘビや八重山諸島で見られるサキシマカナヘビによく似ていますが、宮古島やその周辺離島に生息している宮古固有のトカゲです。

数十年前までは、畑の周辺や住宅の石囲いなど身近に見られていたが、現在はミヤコカナヘビの個体数が減少していて、なかなか見ることができなくなりました。環境省が選定しているレッドデータブック(日本の絶滅のおそれのある野生生物をまとめた本)では、ミヤコカナヘビを、最も絶滅の危険性の高いとされる「絶滅危惧ⅠA類」として取り扱っています。

なぜ、ミヤコカナヘビは減ってし

まったのでしょうか。

減少の原因として、概ね「生息地の消失」「捕食性外来種の影響」「販売を目的とした採集」などが考えられていますが、はっきりとしたことは分かっていません。

実はミヤコカナヘビの生態については、分かっていないことがたくさんあります。そこで現在、専門家の方たちが色々な調査をして、どのような場所で暮らしているのか、なにを食べているのか、どのようにして卵を産むのかなど研究を続けています。このことは、とても大切なことで、ミヤコカナヘビの生態を知り、減少の原因を究明することで、共に生活する私たちがミヤコカナヘビを守っていく方法を見つけられるかもしれません。

そのために必要な情報を集めていますが、まだまだ足りません。そこで、みなさんにお願ひがあります。みなさんの周りでミヤコカナヘビを見ることがあれば、いつ、どこで見たのか、その情報を宮古島市教育委員会へ伝えてほしいのです。その時に注意してほしいのは、ミヤコカナ



連絡先/宮古島市教育委員会
生涯学習振興課文化財係(七七一四九四七)
引用及び写真/琉球大学(戸田守・才木美香)

へびを捕まえてはいけないということです。ミヤコカナヘビは、宮古島市環境保護条例というきまりで、捕まえてはいけないことになってしまします。もし、見つけても捕まえたりしないで、優しく見守ってあげてくださいね。

ミヤコカナヘビは、とてもきれいで、まるで宝石のようです。

それは、私たちの大切なためからものです。

城辺地区 新潟県上越市板倉区 児童交流事業



1月14日(木)~18日(月)の4泊5日の日程で、城辺地区4名の児童(引率2名)が新潟県上越市板倉区を訪れました。昨年8月には板倉区より8名の児童が宮古島を訪れ、夏以来の再会にとっても嬉しそうな様子でした。

学校紹介や中村十作氏記念館見学、スキー体験、各家庭のホームステイなど4日間を一緒に過ごすことができ、お互いの交流を深めることができました。



海山交流体験事業は平成15年から始まり、海の無い岐阜県白川町と山の無い宮古島市の間で行われ、夏(8月)には岐阜県の児童が宮古島を訪れ、冬(1月)には宮古島の児童が岐阜県を訪問し、自然環境の異なる地域間で見聞を広める交流を行っています。

今年度は平成28年1月9日(土)~12日(火)の3泊4日の日程で下地小学校6年生11名が白川町を訪れ交流体験をしました。子ども達は、白川町の子供達と寝食を共にしながら白川町の歴史や文化を学び、白川町の郷土料理作り、スキーなどさまざまな体験をおして交流を深めていました。

今回参加した児童は「一生、思い出に残る大変貴重な体験交流会ができ、今後も文通等で絆を深めたい」と語っていました。



下地地区 岐阜県白川町 海・山体験交流事業

TOPICS

平成27年度 第5回子ども博物館

「野草の観察会と野草料理
～野草ハンバーグを作ろう～」

市総合博物館では、12月20日(日)に午前9時から午後1時の日程で、第5回子ども博物館講座「野草の観察会と野草料理～野草ハンバーグを作ろう～」を実施しました。

子ども達は、講師の川上勲氏から宮古の野草について説明を聞き、博物館の周辺で野草の観察と採集をしました。採集した野草は、野草ハンバーグ、野草の和え物、野草肉団子スープ、野草団子にいただきました。



参加した子ども達からは「道ばたで見かける雑草にも食べられるものがあると分かってよかった」、「苦いイメージがあったけどハンバーグにしたら苦くなくて食べやすかった」などの感想が寄せられました。

教育研究所・PTA研修会

～秋田の教育から学ぶ「学校・家庭・地域の役割」～

1月14日(木)に教育研究所と宮古地区PTA連合会の共催による「PTA研修会」を中央公民館で開催しました。

今年度秋田県から人事交流事業で平良中へ派遣されている鏡基倫先生から、秋田県と宮古島の子ども達の学習状況等のデータを比較しながら、家庭学習の大切さやその習慣化を図り、子ども達の学力向上につなげるための保護者・地域の役割等について講話をしていただきました。

講話の中で、家庭では子どもの家庭学習の様子を褒めて認めて自信を持たせ、自己有用感を育むことの重要性、地域では常に子ども達を気にかけて声をかけて、自分が育った地域(ふるさと)に愛着や誇りを持たせてあげることの大切さを力説されました。

参加者からは、「親としてこれからもっと子どもの自己有用感を育ていけるように声をかけて頑張りたい。」「このような研修会をこれからも開催して欲しい。」との声が聞かれました。



クリスマスお話し会を開催！ 平良図書館・城辺図書館

平良図書館では12月19日(土)、城辺図書館では20日(日)にクリスマスおはなし会を行いました。

両図書館ではフィンガータップ、すばなし、ペープサート、人形劇などの演目が行われ、参加した方々は楽しそうに聞き入っていました。平良図書館での人形劇「ヘンゼルとグレーテル」では魔女の迫力に泣き出してしまう子も…。

おはなし会終了後はサンタとトナカイがプレゼントを配布。サンタが登場すると子どもたちは歓声をあげて大喜びでした！

また来年もプレゼントを用意してお待ちしておりますので、皆様ぜひ足を運んでみてください！

最後はサンタとトナカイから
プレゼント♪→



ハンドベルで赤皇のトナカイを披露しました♪ ↓



↓フィンガータップでお話し会の幕開け！



5地区で650名が新成人☆ 平成28年宮古島市成人式

わだいの広場

2016年成人式典が1月5日(火)平良・城辺・下地・上野・伊良部の5地区で一斉に挙行政され、晴れて大人の仲間入りを果たした650名(男327名・女323名)の新たな門出を祝いました。

平良地区では、式典前のオープニングセレモニーとして、中学時代の恩師から寄せられたビデオレターでのお祝いメッセージをいただきました。

また、舞台アトラクションには「男塾 武-Doo」による創作エイサーで会場を盛り上げていただきました。

式典では、3人の新成人代表者が壇上にあがり、将来の夢、故郷への思い、両親への感謝の気持ちを語りながら、「宮古を世界に誇れる場所にしたい」「アートやデザインで故郷に恩返ししたい」「宮古島の代表として胸を張って生きていきたい」などと決意表明として発表しました。



平成27年度教育委員会 定例会の開催状況

第8回教育委員会定例会(11月26日)、第9回定例会(12月24日)が市役所城辺庁舎でが開催されました。

第8回定例会では、平成26年度教育事務事業点検評価報告書、市立幼稚園預かり保育実施要綱の一部改正議案について提案・審議され、全会一致で可決となりました。

第9回定例会では、市立幼稚園管理規則の一部改正議案、自治公民館指定管理者候補者の選定等について提案、審議されました。市立幼稚園管理規則の一部改正については、5歳児クラス及び異年齢クラスの学級編制の基準が提案され、これまで園児数35人以下としていましたが、今回の改正により5人以上の下限が設けられ、この人数に満たない園については休園の措置がとられることになりました。

市総合体育館

市総合体育館・陸上競技場利用スケジュール



H28.1.25 現在

【2月】

- 6(土)～7(日) 第6回オープンラージボール大会
- 13(土) 第3回大野・中島杯ソフトテニスジュニア大会
- 14(日) 第41回宮古新報杯ソフトテニス百歳大会
- 21(日) 第2回すこやか杯バドミントン大会
- 28(日) 第4回春季9人制バレーボール大会

【3月】

- 5(土) 小学生ドッジボール大会
- 6(日) 第67回レディースバドミントン大会
- 12(土) 第26回協会設立記念バドミントン大会
- 13(日) 第102回総合卓球大会

陸上競技場

タータン工事の為、1/24(日)～3月上旬までの間、使用出来ません。
(※トレーニング室は使用可能です。)

※ 施設使用の詳細は、市民スポーツ課までお問い合わせ下さい。

市民スポーツ課 ☎ 73 - 4469

(月曜・祝祭日休み)

子育てや学校生活で悩んでいませんか？

教育研究所では、学校や家庭で悩みがある児童・生徒、その保護者、または学校職員や教育関係者の相談・支援をいたします。

教育相談室 ☎ 76-2740

※相談等で話したことが、外部にもれることはありません。

【受付】月～金曜日(祝祭日除く)午前8時30分～午後4時30分

【所在地】下地字上地472-39 下地庁舎内

※来所相談・訪問相談も可能です。(要連絡)

2月 3月 行事予定

- 宮古島市「教育の日」
- 宮古島の教育を語る市民大会
2月21日(日)/マティダ市民劇場
- 第6回子ども博物館「常設展示を見よう・閉講式」
3月6日(日)/総合博物館
- マティダお笑い劇場「劇団びん座」旗揚げ公演
3月6日(日)/マティダ市民劇場
- 琉球國祭り太鼓宮古支部20周年記念公演
3月12日(土)/マティダ市民劇場
- おはなしたまてばこ・おはなし会
平良図書館/毎週土曜日 城辺図書館/2月・3月第1日曜日

2月の
第3日曜日は
宮古島市
「教育の日」

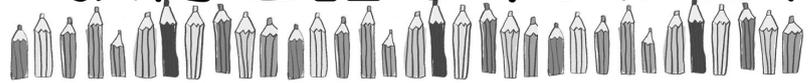


宮古島市市制施行10周年記念事業

2月21日(日)

宮古島市の
教育を語る市民大会

開催します!





**世界陸上選手権
銅メダリスト**



基調講演

「挑戦する心を育てる」

講師：元プロ陸上選手
為末 大氏

あの為末 大がやってくる!

宮古島の教育を語る市民大会

日時：平成28年2月21日(日)
場所：マティダ市民劇場
開場：13:30/開会：14:00

本市では、教育に対する市民の関心と理解を一層深めるとともに、家庭、学校及び地域社会の連携の下に市民全体で教育に関する取り組みを推進し、教育の充実と発展を図ろうと、毎年2月の第3日曜日を「教育の日」として定めています。平成28年2月21日(日)には、教育の日イベントとして「宮古島の教育を語る市民大会」をマティダ市民劇場にて開催します。

プログラム

- 開会行事
- 教育の日表彰
(教育功労者・模範児童生徒)
- 実践報告
(平成27年度学力向上について)
- 基調講演
(講師：為末 大氏)
- 閉会行事

今年度は、市制施行10周年記念事業として、基調講演に陸上競技の短距離種目で日本人初の世界大会メダリストとなり、数少ないプロの陸上選手として活動された、**為末 大氏**を講師に迎え「挑戦する心を育てる」をテーマに基調講演を行います。

中学生や高校生、そしてその保護者の皆さまにとっても夢を抱くことだけでなく、夢を実現するための方法について考える良い機会になると思います。

多くの市民の皆さまのご来場をお待ちしております。

「教育の日」標語・川柳入賞者が決定しました!



教育の日に関連して、児童生徒や一般(高校生含む)から学校・家庭教育など様々な「教育」の視点による標語・川柳を募集しました。

本年度は47点の応募の中から、最優秀作品3点、優秀作品6点が決定いたしました。

小学生の部	中学生の部	一般の部(高校生含む)
<p>最優秀</p> <p>小さい芽 だれでも持っている 可能性</p> <p>久松小学校6年 与那覇さやか</p>	<p>最優秀</p> <p>一つの気づき そこから深まる 無限の学び</p> <p>狩保中学校3年 根間陽佳</p>	<p>最優秀</p> <p>兄弟の 九九が飛び交う 風呂の中</p> <p>平良地区 波名城清美</p>
<p>優秀</p> <p>いつまでも 輝き続ける 探究心</p> <p>久松小学校6年 上田真子</p>	<p>優秀</p> <p>目の前の 壁乗り越えるその姿 未来の自分創る力</p> <p>狩保中学校1年 狩保連</p>	<p>優秀</p> <p>勉学と 共に身につく 根気力</p> <p>平良地区 立津正美</p>
<p>優秀</p> <p>父さんと 宿題やるぞ 100点だ</p> <p>久松小学校4年 国仲勇斗</p>	<p>優秀</p> <p>疑問から 調べ考え ひらめきへ</p> <p>城辺中学校3年 内田未来</p>	<p>優秀</p> <p>宮古島の のびのび学び 夢架ける</p> <p>平良地区 友利理志</p>



宮古島市市制施行10周年記念事業



MIYAKOJIMACITY

10th

2月の第3日曜日は
宮古島市教育の日

基調講演

「挑戦する心を育てる」

元プロ陸上選手

為末 大氏



プログラム

1| 開会行事

開会のことば 教育部長
主催者あいさつ 教育長
来賓あいさつ 宮古島市長
宮古島市議会議長
宮古教育事務所長

2| 教育の日表彰

教育功労者・模範児童生徒

3| 実践報告

平成27年度学力向上について

4| 講演

元プロ陸上選手 為末 大氏

5| 閉会行事

閉会のことば 生涯学習部長

日時

2016年**2月21日**〈日〉14:00 開会 (13:30 受付)

会場

宮古島市文化ホール (マティダ市民劇場)

〔主催〕 宮古島市教育委員会 〔共催〕 宮古島市

〔後援〕 沖縄県教育委員会/宮古地区県立学校長会/宮古地区小学校長会/宮古地区中学校長会/宮古地区小・中学校教頭会/宮古地区県立学校 PTA 連合会
宮古地区 PTA 連合会/宮古島市社会教育委員会/宮古島市子ども会育成連絡協議会/宮古地区婦人連合会/宮古島市青年団協議会
宮古島市老人クラブ連合会/宮古島市青少年育成市民会議/宮古島市放課後子ども教室運営委員会/宮古島市公民館運営審議会/宮古島市図書館協議会
宮古島市総合博物館協議会/宮古島市学校給食共同調理場運営委員会/宮古島市青少年問題協議会/宮古島市文化協会
宮古島市スポーツ推進委員協議会/宮古島市体育協会/みやこ少年少女合唱団

〔協賛〕 宮古テレビ(株)/ (株)宮古毎日新聞社/宮古新報(株)/ (株)エフエムみやこ

■お問い合わせ/宮古島市教育委員会 教育総務課 TEL.0980-77-4942